

令和6年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	氏名	質問形式
1 番	鈴木 和信	一問一答
1. 件名	村における各種ハラスメント等への対応は	
要旨	近年さまざまなハラスメントが想定されるが、村としての取組み対応を問う。 ①村における各種ハラスメントの発生状況は。 ②パワハラ・セクハラ・カスハラ等に対する研修等の村の対応は。 ③公益通報があった場合の村の対応は確立しているのか。	
2. 件名	新教育長としての学習の充実方針は	
要旨	新教育長としての、大衡村の子どもをどのように育て、学力向上を図るのか基本的な姿勢を伺う。 ①宮城県は学力テストが全国最下位とあるが、村としての授業改善の考えは。 ②全国的にタブレットの活用、村においては大衡塾など、支援活動のあり方をどう考えるか。 ③不登校に合わせた家庭学習のあり方の考えは。	
3. 件名	新たな定住促進対策を	
要旨	半導体工場進出計画の白紙撤退に伴い、今後村への子育て世帯・新婚世帯の定住を促進するための対策を考えてはどうか。 ①人口減少を食い止める施策や地域活性化に向けた今後の取組みは。 ②村営の戸建住宅を整備し、一定期間入居した方にその土地と住宅を無償譲渡するという事業は考えられないか。	

令和 6 年第 4 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	2 番	氏 名	石川 敏	質問形式：	一問一答
1. 件名	鳥獣被害の防止対策を問う				
要旨	村内においてはイノシシによる農作物への被害が発生してから 10 数年になり、その後様々な防止対策を講じてきているが、イノシシによる被害は減少していない状況である。 村が取り組んでいる各種対策について、現状と今後の対策の在り方について問う。 ①イノシシによる各種被害の状況。 (農地、農作物被害及び道路、河川、その他公共施設の被害状況) ②侵入防止柵、電気柵の年度別、地区別設置助成状況。 ③侵入防止柵の保守管理にかかる支援状況。 ④鳥獣被害対策実施隊の活動状況、捕獲わなの管理状況。 ⑤次期有害鳥獣被害防止計画の取り組み内容。				

令和6年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 3 番	氏 名 早坂 美華	質問形式： 一問一答
1. 件名	教育長が考える今後の方針について	
要旨	10月より新しく就任された教育長に、大衡村の子ども達が生き生きと健やかに成長できる環境づくり等を含め、今後の方針について問う。 ①クロームブック活用の現状は。 ②年々増加している、いじめ・不登校問題をどのように考えているか。 ③時代の変化にともない、性の多様性 LGBT 教育をどのように進めていくのか。 ④教職員研修を、どのような内容・頻度でおこなっていくのか。 ⑤PTA・学校とどのように連携をとっていくのか。	
2. 件名	新たな子育て支援の考えは	
要旨	子育て支援に手厚い大衡村。これまで全国や県内で先がけて、たくさんの子育て支援をおこなってきており、他市町村からは驚きの声もあった。しかしながら、少子化対策や移住定住促進として全国の各自治体においても子育て支援に力を入れてきている。 その様な状況下で大衡村は子育て支援に手厚いと言えるのでしょうか。 本村の現状に合わせて支援はおこなわれてきていると思うが、大衡独自の色が薄れてきているように感じる。そこで新たな子育て支援の考えについて伺う。 ①過去3年間の出生数の推移は。 ②村独自でおこなわれている子育て支援はなにか。 ③子育て支援に手厚い大衡村を維持するために、新たな子育て支援の考えについて伺う。	

令和6年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 4 番	氏 名 小川 克也	質問形式： 一問一答
1. 件名 交通安全対策は万全か		
要旨 様々な企業の進出に伴い、通勤車両や物流関連車両の往来など自動車交通量は年々多くなっていると思われる。住民や児童・生徒の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要と考える。そこで以下の点について村長の見解を伺う。 ①村外から村内の企業に通勤してくるおおよその人数は。 ②通学路危険箇所の把握とその対策は。 ③児童・生徒に対しての交通安全教育は。 ④自転車用ヘルメットの購入費を補助する考えはどうか。 ⑤交通安全の啓発活動等に日々尽力されている、交通安全指導員の謝金の額と費用弁償等を引き上げることで、交通安全対策を強固なものにできないか。		

通告順位 5 番	氏 名 赤間 しづ江	質問形式： 一問一答
1. 件名 万葉のまちづくりをどう進めるか		
要旨 昭和万葉の森が開園したことによって大衡村を紹介するキャッチフレーズが「万葉の里」となり、子育て支援各事業、公共施設名、村民バスなどにも「万葉」という言葉を冠してまちづくりが進められてきた。 豊かな自然環境を守り、万葉の里のイメージに合う取り組みが求められる。歴史と文化のソフト面を強化し、村内外から散策に訪れてもらうための方策を考えてはどうか。 ①万葉の森の核となる施設「万葉の館」の活用、「ふるさと美術館」との連携を図り、四季を通じて訪れる人が絶えない取り組みを考えてはどうか。（休業中の万葉茶屋を含めて） ②万葉の里おおひらのイラスト風ガイドマップの作成。 ③万葉のまちづくりの一環として「村花キキョウの植栽運動」、「環境美化運動」の推進。 ④観光資源の少ない本村の交流人口を増やし、観光ルートとして近隣自治体との連携を図る考えは。		